

繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246



皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができた。旧年中は皆様よりお心寄せ、お力添えを賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年は年祭活動、仕上げの年です。繁藤においては、左記の三つの目標を教会ごとに定め、心ひとつに精一杯につとめさせていただきます。

○ 教祖年祭への御供

御供袋を用意させていただきました。心定めて、精一杯おちばへ真実の御供を運ばせていただきます。

○ 全教会の仕切り月

今年も繁藤部属の全62ヶ所の教会の月次祭において、それぞれ仕切り月を定めます。教祖から教えていただいた通りのおつとめをしつかり人数を揃えて、賑やかにつとめさせていただきます。

○ たちばな会おちば帰り団参

令和七年六月二十九日(日)、七大教会が心一つに合同団参

を実施します。繁藤全体で帰参者600人を目標に、一人でも多くの方をおぢばにお連れし、教祖にお喜びいただきましょう。

真柱様は、先の秋季大祭で、

三年千日の期間は、動かせていただくことが大切であります。一生懸命取り組んで、年祭の当日、おぢばへ帰ってきてなくても、その日をうれしい心で迎えることができるように、まだ三分の一残っている三年千日を、勇み心を奮い起こしてお通りくださるようお願いしたい。

とお仕込みをいただきました。

真柱様のお言葉をそのまま素直に受け取らせていただくとともに、心定めの完遂はもちろんですが、楽しむ心、喜びの心を離さずに、「明日に希望を、今日を陽気に」のスローガンのもと、本年も繁藤が一手一つとなって力強く歩んでいきたいと存じます。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

立教百八十八年 元旦

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

【神殿講話】

(1月)

高井久太郎 先生

【お帰り講話並びにおさづけの理拝戴者講話】

(1月) 大教会長

【教会長神殿当番】

(1月) 奈井江・百春

(2月) 繁金・方城

【詰所教養掛】

(1月) 坂本久徳

(2月) 宮田孝道

【詰所事務当番】

(1月) 前田優一

(2月) 大西義一

(2月) 平野正敏

【ひのきしん】

○婦人会詰所ひのきしん

1月25日～26日(藤高2名)

たちばな、おぢばへ。

たちばな会 おぢば帰り団参

2025 6.29 SUN

【五季づとめ】

一月は五季づとめの月でございますので、左記の通り上級を通じてお納め下さいますようお願い申し上げます。

記

一、五季づとめ 二、〇〇〇円

【年頭の集い】

左記の通り、年頭の集いを開催させて頂きます。教会長様方には、必ずご参加頂きますよう、お願い申し上げます。又、就任奉告祭でお配りしたタブレットを持参頂きますようお願いいたします。やむを得ず参加できない方は、リモートでも参加して頂けるように致しますので、リモートで参加頂きますようお願い致します。

記

日時 1月20日 13時半受付

14時開会

場所 大教会3階大広間

対象 教会長夫妻並びに在籍者

参加御供 千円

※なお、夕づとめ後に高井先生を囲んでの新年会をひらきます。こちらも併せてご参加ください。

【おつとめ練習】

1月20日の年頭の集い終了後、大教会神殿にて「おつとめ練習」を行います。21日の祭典役割にあたっている方は、必ずご出席ください。

【繁藤詰所の改修ふしん金御供】

詰所活用委員会を中心に現在進めています、繁藤詰所の改修ふしんにあたり、大勢の方からの真実の御供をたまわり、誠にありがとうございます。ふしん金の御供については、本年1月いっぱいをもって区切りといたします。最後までどうぞよろしくお願いいたします。

【たちばな会おぢば帰り団参】

令和7年6月29日(日)に「たちばな会おぢば帰り団参」をさせて頂く事となりました。同封別紙の趣旨をご確認頂きまして、大勢の

人でおぢばにお帰らせて頂きたいと存じますので、お声がけご協力お願いいたします。なお、団参の教会用ポスター(A2)、布教所用ポスター(A3)、をそれぞれ一枚ずつ。声かけ用チラシ(A5)を各教会20枚ずつ配布予定です。下記の公式ラインもご登録の程、よろしくお申し込み申し上げます。



【仕切り月 提出のお願い】

各直轄の仕切り月一覧を同封しております。日時と巡教員をご確認いただき、連絡のやりとりは直接お願いします。

【詰所活用委員会】

先月25日に詰所にて、ご本部への御供えの鏡餅の餅つきを行いました。大勢の方にひのきしん頂き賑やかにつとめることができました。ひのきしん頂きました皆様、誠にありがとうございました。

1月25日の「しげとうtime」のお

かえり講話は大教会長です。こぞつてご参加ください。

【能登半島災救隊義援金について】

繁藤大教会では令和6年4月より第7次にわたり、能登半島地震の被災地支援をさせていただきました。ひのきしんは倒壊家屋の瓦撤去や家財搬出、炊き出しなど多岐にわたり、参加者は延べ60人ほどになりました。また各教会では募金活動のご協力により、皆様の真実をいただき令和6年12月20日時点で合計542,086円のご支援をいただきました。繁藤大教会では被災地への出勤ならびに募金活動を令和6年いっぱいをもって一区切りとさせていただきます。

お心寄せ、お力添えいただきました皆様、誠にありがとうございます。

【学生会】

学生生徒修養会の「大学の部」が、3月4日～8日まで、「高校卒業生コース」が、3月10日～12日までの日程で開催されます。対

象になります学生さんにお声掛けの程、よろしくお願ひします。

下記のQRコード

・URLより、詳細がご覧頂けます。



<https://happist.net>

【おさづけの理拝戴者（11月）】

垣生 野村 陽子

【通達 五代会長十年祭】

繁藤大教会五代会長 故坂本藤恵刀自の十年祭を、来る3月22日、大教会春季霊祭の日に合わせまして、午前十時より執行いたします。神殿の儀に引き続き、祖霊殿の儀を執り行います。斎主は高知大教会前会長の島村廣義先生です。ご参拝いただきますようお願い申し上げます。

繁藤大教会長

坂本輝男

【仕切り月の喜び】

高杉分教会

(令和6年12月15日)



【五教百八十七年十二月 祭文】

これの繁藤大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。

親神様の果てしなき親心、尽させぬ御守護のまにまに日々結構にお連れ通り頂く中、早くも今日は十二月の月次祭を執り行う日柄となりました。思い返せば、本年は教祖百四十年祭に向かう三年千日の真中の年として、諭達をもつて心を合わせ、ようばく一人ひとりが心の成人にとどめ、たすけ一条を胸に歩みを進めてまいりました。一方で日本においては年年初から能登半島地震という天災が起こり、また日本のみならず世界においても紛争や政治的混乱、人々の分断など様々な事柄を通して、一れつゝの真のたすけをお急ぎ込み下さる親心の込められたふしの数々をお見せ頂きました。親神様の深き思召に添わせて頂けるよう、また各々の立場で教祖の道具衆の自覚をもつてごめさせて頂いたつもりで御座いますが、振り返りみて、まだまだ思召に添う歩みには遠く及ばぬところがあつたことと反省の念も抱くばかりで御座います。そんな中にも、大らかな親心に抱かれて、火水風の御守護をはじめ、身の内かりものの妙なるお働きを頂いて恙無くお連れ通り下さる御慈愛の程誠に有難く勿体ない極みで御座います。只今から恒例により、おとめ奉仕者一同心を一つに合わせ、陽気に座りごとめてをどりをとどめて、本年納めの月次祭を執り行わせて頂きます。折柄の寒さも厭わず遠方近方より参来集うようばく、信者と共に、今年賜りました数々の御恵、御厚恩をこと改めて御礼申し上げたいと存じます。また仕上げの年たる来年に向けて、一層御存命の教祖の御心に溶け込み、一段と親神様の思召に添わせて頂けるよう足取りを進めていく覚悟で御座います。何卒届かぬところは歳重にも御仕込み下され、一日も早く神人和楽の陽気つくめの世の状にお導き下さいますようお願い申し上げます。ここにこの一年の間におかけ下さりました数々の親心に重ねて御礼を申し上げ、併せて来年も変わりなくお連れ通り頂きますよう御守護の程を一同と共に慎んで御願い申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十七年 十二月 祭典役割》

祭主	大教会長	立花真一郎
指図方	宮田孝道	佐々木 恵
扨者	為田基紀	前田 豊
扨者	空閑一将	田村省悟
賛者	田村聡佐	村上由高
賛者	前田 豊	空閑慶吾
座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
男	大教会長	安部道郎
	前大教会長	前田 豊
	田村辰久	黒河明大
	大教会長夫人	宮田まゆみ
	前会長夫人	為田賢子
女	黒石伸子	武市まち子
	宮田孝道	佐藤成彦
	村上英士	佐藤節幸
地方	空閑一将	伊藤正福
笛	為田基紀	空閑慶吾
チャンポン	坂本久徳	空閑一教
拍子木	藤田憲明	宇山基紀
太鼓	田村久徳	立花真一郎
すりかね	為田紀久男	藤田一憲
小鼓	佐藤栄治	佐々木 恵
琴	藤田洋美	田村睦美
三味線	佐藤順子	坂本喜子
胡弓	佐藤文代	空閑 都
神殿講話	坂本久徳	阪本喜代子



たちばな、
おちばへ。



たちばな会おちば帰り団参

2025 **6.29** sun

団参の詳細内容はホームページ・SNSをご確認ください

●おつとめ／当日10時30分より、七大教会が本部神殿に集まり、拍子木を入れての「おつとめ」をつとめさせていただきます。

<https://tachibanakai.net>



情報は随時ホームページや SNS などで発信予定です。まずはこちらの公式 LINE をぜひ登録ください。



たちばな会おちば帰り団参実行委員会